

新アメリカ大統領

今日の預言アップデートは、これまで何年もの間行ってきた中でも、最も困難なものの一つに入ると言っておきます。なのでみなさんには、どうか最後までよく聞いてくださるようお願いいたします。先週日曜日から始まって、昨夜、されに言えば今朝まで、預言カレンダーの観点から見て、実に忙しい週でした。

まずは先週の預言アップデートに関して、訂正とお詫びをお伝えしなければなりません。感謝な事に、この地元教会の中にも、またオンラインチャーチの中にもたくさんの“ベレヤ人”がいます。オバマが、国連安保理議長を務めた件で、私がいった内容が間違いであることに気づきました。その為、この件についてソーシャルメディアに投稿しています。

オバマが国連安保理議長を務めた件について、お詫びと訂正をお伝えします。オバマが議長を務めたのは、2009年と2014年で、『2017年に議長になる』と言ったのは誤りです。また、これはアメリカ大統領では史上初めてです。それから重要なのは、アメリカ大統領が国連安保理議長を務める事は、アメリカ憲法に違反するという事です。そして、オバマはそれを犯した、最初であり唯一の大統領です。

また、補足として簡単にお伝えしておきたいのは、火曜日に行われた、パレスチナ国家とエルサレムの分断に関するパリ平和サミットについてです。少なくとも、今の時点では、それほど合理的ではなかったようです。とても面白かったのが、それがイギリスから発せられた点で、関係者不在の中で、平和を促進しようとする事、さらにアメリカ新大統領の就任数日前という事から、サミットの最後に、最終宣言を支持する事を差し控えました。The Jerusalem Postによると、

——記事——イギリスのテリーザ・メイ首相は、ボリス・ジョンソン外務大臣も、大使も、フランスには送らず、イギリスは、会議立会人の立場を保った。平和に関して、当事者両国が含まれていない、国際会議に対して、私たちは一定の条件を有し、これは確実にイスラエルの意思に反して行われている。——

良く言った！！テリーザ・メイ首相！私はこの首相が好きですね。しかも、

——記事——これはすべての外務機関の合意声明に対して、最終的な保証役であるアメリカが新しい大統領に、政権を移行する数日前に行われている。参加国のほとんどが調印した、両国に対して、二国解決案を再び付託し、一方的に対立を侵害する行為の停止を要請する公式声明に、ロンドン文書を指示しない事を選択。——

付け加えて言うなら、それによって阻止されたのは、予想外でした。予想を超えて阻止されました。ハレルヤ！ハレルヤ！

火曜日、Ynet News のコラムに掲載されたのは、前イスラエル国連大使の Ron Prossor 氏の書記です。彼が数年前にハワイで講演した際、私はお会いする機会に恵まれて、皆さんの中にもお会いした方がいるでしょう。私が、彼の視点を特別扱いする事で、色々な理由で間違いなく非難を受けるとは思いますが、それでもパリ平和会議に関して、彼の言葉を使ってお伝えしたいと思えます。

「間違ったメッセージを、間違った時に、間違った場所で」

——引用——ほんの数週間前、フランスとブリッツは、安保理事会で反イスラエル決議に賛成した。そして日曜日、彼らは“平和の促進”という誤った表題の下、愚劣な決議を強要しようとする新たな行進の為、世界の諸国をパリに招集。礼儀をはるかに超える、花火と、サクサクのクロワッサン。この会議は、一切の現実味に欠き、国際会議は、マドリッド、オスロ、キャンプデービッドで行われた様に、両方が直接交渉して、合意に至るように働きかけるべきだ。国際社会の仕事は、“やる気”を起させる事であって、“やる気”この言葉をよく覚えておいてください) 両者を交渉の座に着かせるためには、交渉なしには、両方が打撃を受ける事を彼らに明確に示さなければならない。しかし、そこから離れて、あらゆることを行っているように見える。(皆さんに、注目していただきたい言葉がもう一つ出てきますので、よく聞いてください) パリ会議は、アメリカ新政権発足の数日前、続くフランスの選挙をバックグラウンドに、冷めた、味気ないデザートが、イスラエルに運ばれ、オバマ政権の厚意が、フランスのキッチンでシェフが交代する直前に、即興で作られたオードブルと共に出された。問題は、シェフが、続けて他人の仕事にちょっかいを出し、他の鍋を完全に無視している事。シリアでの大虐殺や、ヨーロッパでの国際テロや移民問題。これらは、その下にある激しい火によって沸騰している。そろそろ、パレスチナの指導者は、アメリカとフランスのダンスパーティーなど必要としていないという事に、国際社会は気づくべきである。(ここで、“やる気”に次いで、2つ目のキーワードが登場します。後でまた戻ってきますので、よく覚えておいてください) しかし、“誰か”が、それを揺さぶり、再び交渉のテーブルに着かせることの出来る“誰か”。(これをよく覚えておいてください。どこへ向かうかお分かりですね) 新しく就任した大統領と、それに伴うイスラエルの新しい希望。——

The Times of Israel によると、

「アメリカとイスラエルの新しい関係と、同盟を期待して、“新しい時代”を歓喜」

——引用——イスラエルは、8年続いたオバマ政権の後で、イスラエルとアメリカの同盟関係を、“これまでになく最善にする”と誓った、ドナルド・トランプ大統領就任を歓迎。そして、新しい時代の到来を、歓迎している。イスラエルの国連大使、Danny Danon 氏 (Prossor 氏の後任) は、これは“激変”だと言って、歓迎。特に、イスラエルの入植を批難する決議に、オバマ大統領がアメリカ拒否権の行使を拒んだ、近年の国連の中で。「今日、イスラエルの真の友が、ホワイトハウス入りした」と、ダノン氏は言い、「トランプ大統領の、絶対的な指示に感謝する。私たちは、首都エルサレムで、あなたをお迎えするのを楽しみにしています。」——

わお！！…しかしながら、皆さんの喜びに、水をさすつもりはありませんが、でも、“でも”なのです。記事は続けて明確に示しています。この、新しいアメリカ大統領に関して、いくつか危惧する点があるのです。その一つが、トランプのプーチンとの親しい関係。これが問題であり、危惧されているのです。プ

ーチンは、イランと親密な関係を結んでいます。特にシリアに関して。その上、イスラエルないで、イスラエルの敵に関して、イスラエルが危惧するのは、トランプが約束を守って、大使館をテルアビブからエルサレムに移すこと。全力でそれをするとされています。それに加えて、これぞ存知ですか？実際かなりの驚きですが、トランプが、娘婿でホワイトハウスの助言役の上官である Jared Kushner 氏を、中東和平交渉の仲介人に任命したことを報告。

Jerusalem Post によると、

——引用——トランプは、The Time of London のインタビューで、イヴァンカトランプの夫である Kushner 氏が、イスラエルとパレスチナ間の和平交渉の役を請け負うと言い、その前に、トランプは Kushner は、あの地域を知っており、その人も知っており、携わっているものも知っていると、提案。トランプは、前もってインタビューで説明。Kushner と、その妻ドナルド・トランプの娘、イヴァンカは、2009 年の結婚の時に改修し、今日も正統派のユダヤ教徒である。——

「先生、何を言おうとしているのですか？」

あえて言うなら、このために、今回はこれまでで一番難しい預言アップデートだったのです。なぜかと言えば、新しく就任した大統領に関して、心の中でずっと葛藤が続いていたのです。なぜ私がこう言うか、その理由を出来る限りシンプルに説明します。それからお伝えしなければならないのは、トランプ大統領が、ユダヤ人とクリスチヤンの両方に、一時的救済を与えたという事に、ある意味では同感です。それでも、私の心にひっかかるものがある、私の心にひっかかる最大のものは、彼は、エルサレムを分断したいという事。私たち聖書預言を学ぶ者の中にさえ、深くしみ込んでいるのは、この二国解決案が、解決策であるかのように、受け入れてしまいそうになる。これは解決策ではなく、これは、神の民、ユダヤ人を最終的に破滅させ、絶滅させようとする、ヒトラーの最終的解決の再梱包です。そして、トランプはそれをしようと思っているのか？

2～3週間前に、ネタニヤフが、二国解決案について語った事で、猛烈に非難されている記事を引用しましたが、二国解決案なんてものは存在せず、唯一の解決策は、一国解決案であり、イスラエル国家です。なので、言わずにはいられないのです。いいですか？私も望みますよ。それと、彼が選ばれた事に、間違いなく感謝しています。

でも、しっかりしてください！

我々はまた、大統領に希望を置くのですか？前にも同じ経験をしましたよね。

「でも先生！彼の就任式では、記録的な長さの祈りがささげられました」

そうですね、私も観ましたし、実際録画もしましたよ。キリスト教運動のようでしたよね？

「それに、次の日は教会で礼拝も行って、グレッグローリーや、ロバート ジェフリースや、いろんな人が居たじゃないですか！」

もちろん！それに関しては、神を賛美しますよ！でも、そう急がないでください。そう急がないでください。

いいですか？一時的に救済されたと言うのは、そう望みますし、それが妥当なようにも聞こえます。しかし、私は、真実は正反対だと思っています。

今朝、車を運転しながら祈っていたのは、「主よ、どうしてこんなに心がざわつくのでしょうか」その時、主が言われたのは、クリスチャンの大部分が、この一時救済の名の下に、気を抜いてしまっている。私は、それはとても愚かなことだと思います。そして、私はそれは正反対だと言いたい。熱心に、精を出して、緊張感を持つべき時があるとしたら、それは今です。こういう理由は、たくさんありますが、その中でも、ここ10年間に、ほぼ百万人のクリスチャンが殺されています。

月曜日の Christian Post によると、

——この10年間に90万人以上のクリスチャンが、その信仰の為に殉教している。今月発表された研究によると、2016年、9万人のクリスチャン、または、**6分毎に1人のクリスチャンが殺された。**

ここではないですよ。ハワイに住んでいて不利な点は、“地上の樂園”と呼ばれる場所に住む不利な点は、世界で起こっている現実に関して、盲目になると言う事です。私たちは、美しい場所に住んでいて、隔離され、さらには孤立して、アメリカ本土からだけでなく、他の国からも。中東では私の民、アラブ人が多数イエス・キリストの信仰を告白して、首をはねられています。私たちからは、かけ離れた事で、私たちには別世界です。これがクリスチャンに関してです。

次に、イスラエルに関して言えば、こういうもう一つの理由として、イスラエルが、この“新しい時代”すなわち新しい大統領を、あまりにも迅速に歓喜している点です。面白いと思ったのは、この新しい時代が、もしかしたら、先にお話しした最初の言葉、“やる気”を起こす。

次が、二番目の言葉“誰か”を通して、ユダヤとパレスチナ人が隣り合って暮らすように、彼らを再び交渉の座に戻す事の出来る人、第一テサロニケ5:3の通り、「平和だ、安全だ」と言って。

私は、聖書預言に、特にイスラエルに関するものは、すべて整ったと思っています。しかも現在はさらに急速に進む可能性が増した。

「先生、喜びを奪わないでください」

「主の御名を告白する新しい大統領が与えられた事を、どうして素直に喜べないのですか？」

それに関しては、ハレルヤ！です。私はそれを否定しません。それを否定する事は出来ません。それでも、よく見定める必要があるのです。そして、ここで霊的に見極めるのは、とても重要だと思います。聖書預言について、最近のアップデートを見ていると、現在起こっているのは、イザヤ17章からダニエル9:27と、その中間全てです。実際、トランプの就任で、この成就を加速させるかもしれない。イスラエルはこれまで以上に、受け入れ態勢に入っていないませんか？明らかに考えても、前大統領の時よりも？言っておきますが、私はある人たちが言うように、トランプや彼の正統派のユダヤ教徒の娘婿が、反キリストだと言っているのではありません。ところで、念のため言いますが、誰が反キリストか、見つけようとするのは止めなさい。反キリストが明らかになった時、私たちは、ここにはいませんよね？我々は、反キリストを探しているのではなく、イエス・キリストを求めているのですよね？

昨日、今日の預言アップデートを準備していた時、2通のメールを続けて受け取ったのです。

私が最近学んでいる事の一つに、古いことわざがあって、

「一人の人から、“ロバ”と呼ばれたら、無視しなさい。でも2人から“ロバ”と呼ばれたら、鞍を買いなさい。」

私は、いくつ鞍を持っているか分かりますか。別の言い方をすれば、2人以上の承認によって、実証しなさいという事です。同じことについてのEメールを2通立て続けに受け取った時、私には、これを伝える義務があるわけです。

なんのことかと言うと、ドナルド・トランプが、神のラッパ（トランペット）、神の人として、最高の権力を与えられたと言う預言です。中には名前をもじる人もいて、トランプとペンズで、トランペンズ？いいですか？なんでもいいですが、よく聞いてください。いや止めておきましょう。

次に行きます。多くの人が言っているのは、「ドナルド・トランプは、このような時に、神が選ばれた人物だ」繰り返します。私はこれに関して、否定するつもりはありませんが、これについて、良く見極める必要があるのです。なぜかと言えば、バラク・オバマが最後のアメリカ大統領になるという預言が、たくさん出回っていましたね、覚えていますか？それはどうですか？いろいろな本を書いた人たち。株価や何か、全て去年に起こるはずだと言っていました。彼らは銀行に行く道すがら、笑いが止まらないでしょう。そういった預言に関して、私たちは気を付けなくてはなりません。私が学んでいる事の一つに、聖書預言に関して、自分には分からない時は、自分が知っている事に留まっておくこと。そして我々が知っているのは、神のみことばが、常に最後の決定権を握っているという事。いかなる人の、いかなる事に関する、いかなる聖書預言に対しても、リトマス紙となる、聖書の箇所を3つお伝えしたいと思います。1つ目は、使徒ペテロによるもので、

“また、私たちは、さらに確かな預言のみことばを持っています。夜明けとなって、明けの明星があなたがたの心の中に上るまでは、暗いところを照らずともしびとして、それに目を留めていると良いのです。それには何よりも次の事を知っていなければいけません。すなわち、聖書の預言はみな、人の死的解釈を施してはならない、ということです。”（第二ペテロ 1:19-20）

私はコードの解き明かしとか、ミステリー解除とかいってもものは、受け入れられません。まるであなただけが知っているようで、**あなただけが**解釈を得て、それが解き明かされた…そしてこのミステリーが\$39.99で私のものに！…というようなものは受け入れられません。理由はこれです、

“なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からの言葉を語ったのだからです。”（第二ペテロ 11:21）

“愛する者たち。霊だからと言って、みな信じてはいけません。なぜなら、にせ預言者がたくさん世に出てきたからです。人となって来たイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。それによって神からの霊をしりなさい。イエスを告白しない霊は、どれ一つとして神から出たものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたはそれが来ることを聞いていたのですが、今それが世に来てい

るのです。”(第一ヨハネ 4:1-3)

「わお。先生、では、彼らが偽預言者だと言うのですか？」

彼らのいう預言が、全て彼らに目を向けるものであって、イエス・キリストという方にある救いについて、一切触れていない時、私は少し疑っています。私は心穏やかではられません。彼らの預言のラッパが、どれだけ大音量だったとしても同じです。その中心が、イエスキリストによる救いでなければ、私は疑います。最後に申命記です。これがあなたが見分ける方法です。その預言が本物か、そうでないか。預言者か、偽預言者かどうか。

“あなたが心の中で、「私たちは、主が言われたのでないことばを、どうして見分ける事ができようか。というような場合は、預言者が主の名によってかたっても、そのことが起こらず、実現しないなら、それは主が語られたことばではない。”(申命記 18:21-22)

ところで、それが、99.999999…%成就されてもダメなのです。それが、100%正確でなければ、神からのものではない。だから、ノストラダムスやエドガー・ケイシーや、その他大勢の予言や、預言をする者が本物かどうか、分かりますね。「でも、あれは、そうでしょ？」いえいえ…、聞いてください。明瞭さと、特異性に、ほんの少しでも疑いがあれば、それは神からのものではない。神からのものではない。こうやって見分けるのです。もし、それが起こらなければ、それは神が語った事ではなく、

“その預言者が不遜にもそれを語ったのである。彼を恐れてはならない。”(申命記 18:22)

1つ加えてもいいですか？「その人の本を買ってはいけない」と言っておきます。

今日の預言アップデートは、これで締めたいと思います。「すぐに分かります。」すぐに分かります。言われている事の全てが、神の言葉かどうか、さらに言えば、神の確かな預言のことばが、今日、成就し始めている事もすぐに分かります。イスラエルで起こっている事、イスラエル国内で起こっている事、恐らく一番大事なのは、イスラエルに対して起こっている事を見れば、十分分かります。イスラエルは、今でもなお、これまでも、またこれからも、神の預言的時計です。永遠の視点で、預言に関して今が何時かを知りたければ、イスラエルを見てください。

最後に、これまで、一度も主の御名を呼び求めて救われていない人は、どうか今日、呼び求めてください。私が数か月前に見つけた、とてもシンプルな、子どもにでも分かるほどシンプルな、誰の知性も侮辱するつもりはありませんが、「救いのABC」と言われるものを紹介します。本当にシンプルです。

A=Admit (認める)

自分が罪びとで、救い主が必要なことを認める。

B=Believe (信じる)

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。”(ローマ 10:9)

C=Call (呼び求める)

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」”(ローマ 10:13)

祈りましょう。天のお父様。私が牧らせていただいている、この素晴らしい教会の一人一人の心を、あなたはご存知です。また、どこであろうと、これをインターネットで観ている、おひとりおひとりの心をあなたはご存知です。あなたは、心をご存じで、心を見られます。だから主よ。どうか今日ここで、あなたに対して閉ざされている心を開いてください。今日、彼らがあなたに対して心を開きますように。彼らが、あなたを呼び求めますように。自分が罪人で、救い主が必要なことを認め、心で信じて、口で告白して、主の御名を呼び求めて、今日救われますように。今日、今日が彼らの救いの日となりますように。イエスの御名によって祈ります、アーメン。

皆さんの忍耐に感謝します。God bless you!

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>
Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい